

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0010/100555/02/04	事業の種類	4
年度	22	事務事業名	ホームページ整備事業	作成日	重要度
予算事業名	行政事務OA化管理事業		担当課名	総務課	
政策名	快適で魅力あるまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定
施策名	情報・通信		無	無	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市ホームページへアクセスする人			
	誰(何)を対象として	相生市ホームページへアクセスする人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	情報発信の重要な媒体として、全ての課から情報を提供、更新できるような環境を構築し、市の業務や手続方法、行事案内等アクセスした人が知りたい情報をいち早く提供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年10月 ホームページ開設 平成14年10月 ホームページ改定 平成16年10月 ホームページリニューアル、サーバを内部設定 					
活動実績	項目	単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度計画
	ホームページ更新件数	件	337	396	429	450
	アクセス件数	件	207,955	314,787	309,440	324,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		20年度決算	21年度決算	前年比	22年度決算	前年比	23年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.086	103.6	0.087	101.2	0.083	95.4	
	主幹以下職員	0.432	0.200	46.3	0.200	100.0	0.160	80.0	
	臨時職員	0.000	0.240	-	0.240	100.0	0.260	108.3	
支出内訳	人件費	4,359,990	2,893,109	66.4	2,915,974	100.8	2,617,504	89.8	
	事業費	936,075	54,075	5.8	54,075	100.0	54,000	99.9	
	合計	5,296,065	2,947,184	55.6	2,970,049	100.8	2,671,504	89.9	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	715,000	854,000	119.4	842,000	98.6	600,000	71.3	
	一般財源	4,581,065	2,093,184	45.7	2,128,049	101.7	2,071,504	97.3	
	合計	5,296,065	2,947,184	55.6	2,970,049	100.8	2,671,504	89.9	

4 評価指標

【有効性】

指標名1	ホームページへのアクセス件数(1月あたり)								
指標説明(式)	年間アクセス数÷12平成18年1月16日アクセスカウンター設置(17年度実績は1月~3月平均値)								
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
件	目標	15,000	15,000	100.0	26,666	177.8	27,000	-	
	実績	17,329	26,232	151.4	25,787	98.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

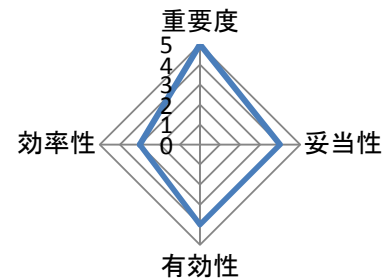
指標名1		1アクセスに要する経費							
指標説明(式)		事業費(人件費含む)÷年間アクセス数							
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
円	実績	25	9	36.0	10	111.1	9	90.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	20年度	21年度	前年比	22年度	前年比	23年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(22年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	情報提供、情報公開の手段として重要である。	4	4
	市民ニーズ	より一層の内容の充実が求められている。		
有効性	成果目標(改善)達成度	外部サーバから内部サーバへ移行し、職員での更新が可能となった。	4	4
	市民サービス	職員での作成、更新により、市民のニーズに迅速に対応することが可能となった。		
効率性	コストの節減	内部サーバへの移行が完了し、委託料、人件費ともに節減された。しかし、今後計画的な機器の更新が必要になる。	3	3
	手段の最適性	市民サービスの向上、コストの削減が図られたが、セキュリティに対する対策が今まで以上に必要となる。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	<ul style="list-style-type: none"> 形式の統一性がなく、見やすくわかりやすいシステムとなっていない。また、高齢者等に対しても文字サイズが利用しやすいとはいえない。 操作性が簡易ではないため、迅速な情報更新が行えていないところがある。 市の全体的なPRを担う秘書広報係との連携ができていないため、広報紙等との整合性、戦略的な広報体制となっていない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた23年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	情報発信の重要な手段であるという認識が所属課や個人により差異があり、情報の更新にも格差が生じているため、スキルの全体的なレベルアップに努める。
H22→H23予算反映額		0

検討の有無	-
総合指標	23